

平成18年度 二番茶実収報告

滋賀県農業技術振興センター茶業指導所

1. 摘採日

本 年	前 年	前5ヶ年
7月6日 (7月6日)	7月5日	6月28日

注) 平成19度から調査園を変更する予定

()内は変更予定の調査園における予備調査数値(以下同等)

2. 生葉収量 (kg/10a)

本 年		前 年		前5ヶ年	
収 量	指数	収 量	指数	収 量	指数
336 ± 38 (590 ± 21)	65 (113)	411 ± 75	79	520 ± 67	100

3. 百芽重 (g)

本 年		前 年		前5ヶ年	
重 量	指数	重 量	指数	重 量	指数
32.3 ± 3.6 (34.5 ± 1.8)	90 (95)	46.5 ± 7.4	129	36.1 ± 4.2	100

4. 新芽数 (本/m²)

本 年		前 年		前5ヶ年	
芽 数	指数	芽 数	指数	芽 数	指数
715 ± 22 (805 ± 73)	52 (59)	724 ± 112	53	1366 ± 190	100

5. 出開き度 (%)

本 年	前 年	前5ヶ年
61 (80)	93	79

6. 気象表

項目・年次 月・旬	平均気温()			最高気温()			最低気温()		
	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
5月 下旬	17.5	17.0	17.8	22.8	23.4	23.7	13.2	11.2	12.7
5月 上旬	19.2	19.4	19.4	25.1	25.5	24.9	14.0	14.4	14.4
6月 中旬	20.9	21.2	20.7	26.5	26.2	25.6	16.0	17.1	16.7
6月 下旬	22.1	24.4	21.7	27.1	29.7	26.2	18.4	20.1	18.2
7月 上旬	23.1	22.3	23.5	28.0	26.4	28.3	20.2	19.4	19.6

項目・年次 月・旬	降水量(mm)			降水日数(日)		
	本年	前年	平年	本年	前年	平年
5月 下旬	21.0	4.0	42.2	4	2	3.9
5月 上旬	35.5	10.5	36.4	2	2	3.3
6月 中旬	67.0	24.0	70.7	4	4	5.6
6月 下旬	116.5	45.0	79.0	6	6	6.1
7月 上旬	52.0	117.0	78.1	5	9	5.5

7. 供試園の条件

品 種	定植年次	栽植密度	樹 高	株張り	その他
やぶきた	昭和31年3月 (51年生)	180cm × 30cm	90cm (84cm)	160cm (160cm)	防霜ファン レール設置ほ場

年間施肥成分量(kg/10a) N:53.2 P₂O₅:12.0 K₂O:13.2

8. 概況

1) 気象

5月下旬以降、旬ごとの平均気温は-0.4 ~ +0.4 と平年並みで推移した。最高気温は、5月下旬が平年よりやや低く、6月中下旬が平年よりやや高かった。最低気温は平年並みであった。

降水量は、6月下旬がやや多く、5月下旬、7月上旬がやや少なかった。

2) 生育

一番茶の摘採が平年より13日遅い5月22日であったことにより生育が遅れ、本年度の二番茶の摘採日は平年より8日遅い7月6日となった。また、一番茶摘採日から二番茶摘採日までの日数は44日と前五カ年平均より6日短かった。

生葉収量は、前5ヶ年平均比65%と大きく減少したが、これは芽数の減少(前5ヶ年平均比52%)による影響が大きいためと考えられた。

3) 病害虫の発生状況

チャノホソガの発生がやや多かったものの、作況調査園に実害はなかった。

4) 県下の状況

本年は、平坦地・山間地ともに摘採日がやや遅く、収量も平年より低かった。また、生育不揃いの園がみられた。

チャノホソガの発生がみられたが、実害はなかった。